

注3

大学番号：私108

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東京電機大学 システムデザイン工学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京電機大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	次長 <small>モリタ ヨシカス</small> 森田 嘉一
	担当 <small>タカキダ ツバサ</small> 高木田 翼
電話番号	03-5284-5202
（夜間）	03-5284-5202
F A X	03-5284-5240
e-mail	tdupres@jim.dendai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

システムデザイン工学部

<情報システム工学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. AC対象学部等を含む大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

<デザイン工学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. AC対象学部等を含む大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
システムデザイン工 学部長	(サイトウ ツヨシ) 齊藤 剛 (平成29年4月)		
情報システム工 学科長	(ミヤカワ オサム) 宮川 治 (平成29年4月)	(オガワ タケシ) 小川 猛志 (平成29年8月)	都合により学科長交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システムデザイン工学部 情報システム工学科 学士(工学)	工学関係	4年	130人	— 年次人	520人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 130 (-) [-]	人 (-) [-]	人 130 (-) [-]	人 (-) [-]	1.16倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	3,005 (-) [23]	— (-) [-]	2,477 (-) [27]	— (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	2,902 (-) [22]	— (-) [-]	2,378 (-) [25]	— (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	426 (-) [4]	— (-) [-]	357 (-) [5]	— (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	161 (-) [2]	— (-) [-]	144 (-) [1]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.23		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	161 [2] (6)	— [—] (—)	151 [1]	— [—]	平成30年度1年次のうち再入学1人
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	151 [2] (0)	— [—] (—)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	161 [2] (6)	—	302 [3] (0)	—	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	161 人	4 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)、家庭の事情(1人)
平成30年度	302 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	— 人	4 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{161} = \boxed{2.48} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{302} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・英語科目 発展科目群	英語演習A	2・3前・後		1							3
	英語演習B	2・3前・後		1							4
	英語演習C	2・3前・後		1							2
	英語演習D	2・3前・後		1							3
	英語演習E	2・3前・後		1							2
	英語演習F	3前・後		1							2
	英語演習G	3前・後		1							2
	英語演習H	4前・後		1							2
	英語演習I	4前・後		1							1
	国内英語短期研修	1・2・3・4		1							3
	海外英語短期研修	1・2・3・4		2							1
留学生科目	日本語中級 I A	1前		1							1
	日本語中級 I B	1前		1							1
	日本語中級 I C	1前		1							1
	日本語中級 II A	1後		1							1
	日本語中級 II B	1後		1							1
	日本語中級 II C	1後		1							1
	日本語上級 I	2前		1							1
	日本語上級 II	2後		1							1
	日本事情A	1後		2							1
	日本事情B	2前		2							4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・英語科目 発展科目群	英語演習A	2・3前・後		1							3
	英語演習B	2・3前・後		1							2
	英語演習C	2・3前・後		1							2
	英語演習D	2・3前・後		1							3
	英語演習E	2・3前・後		1							2
	英語演習F	3前・後		1							2
	英語演習G	3前・後		1							2
	英語演習H	4前・後		1							1
	英語演習I	4前・後		1							1
	国内英語短期研修	1・2・3・4		1							2
	海外英語短期研修	1・2・3・4		2							1
留学生科目	日本語中級 I A	1前		1							1
	日本語中級 I B	1前		1							1
	日本語中級 I C	1前		1							1
	日本語中級 II A	1後		1							1
	日本語中級 II B	1後		1							1
	日本語中級 II C	1後		1							1
	日本語上級 I	2前		1							1
	日本語上級 II	2後		1							1
	日本事情A	1後		2							1
	日本事情B	2前		2							3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎	デジタル回路Ⅰ	1後	2			2		1				
	確率・統計Ⅰ	1後	2			2						
	情報通信基礎	1後	2			2		1				
	情報通信とネットワーク	2前	3			2						
	データベースシステム	2前	2			2						
	コンピュータ構成	2前	2			1						
	オペレーティングシステムⅠ	2後	2			1						
	情報化社会と法規	3後	2			1						
情報処理の基礎	1前	2				1	1					
専門教育科目	ネットワーク	IPネットワーク構築法	2後		3	2						
		ネットワークセキュリティ	3後		3	2						
		情報通信理論	2後		2	3						
		分散プログラミング	3前		2			1				
		ネットワークサービス構築法	3前		3	3						
		人工知能	4前		2	1						
		デジタル回路Ⅱ	2前		2	2		1				
コンピュータ	先進コンピュータシステム	2後		2	1							
	オペレーティングシステムⅡ	3前		2	1							
	数値科学と数値計算	3後		2	1							
	先進コンピュータプログラミング	4前		2	1							
	組み込みシステム設計	4前		3	1							
	コンピュータプログラミングⅡ	1前	2			1	1					
プログラミング	コンピュータプログラミングⅢ	1後	4			1	1					
	C言語プログラミング	2前	2			1	1	1				
	データ構造とアルゴリズム	2後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎	デジタル回路Ⅰ	1後	2			2	1	1				
	確率・統計Ⅰ	1後	2			2						
	情報通信基礎	1後	2			2	1	1				
	情報通信とネットワーク	2前	3			2						
	データベースシステム	2前	2			2						
	コンピュータ構成	2前	2			1						
	オペレーティングシステムⅠ	2後	2			1						
	情報化社会と法規	3後	2			1						
情報処理の基礎	1前	2				2	1					
専門教育科目	ネットワーク	IPネットワーク構築法	2後		3	2						
		ネットワークセキュリティ	3後		3	2						
		情報通信理論	2後		2	3						
		分散プログラミング	3前		2				1			
		ネットワークサービス構築法	3前		3	3						
		人工知能	4前		2	1						
		デジタル回路Ⅱ	2前		2	2		1				
コンピュータ	先進コンピュータシステム	2後		2	1							
	オペレーティングシステムⅡ	3前		2	1							
	数値科学と数値計算	3後		2	1							
	先進コンピュータプログラミング	4前		2	1							
	組み込みシステム設計	4前		3	1							
	コンピュータプログラミングⅡ	1前	2			1	2					
プログラミング	コンピュータプログラミングⅢ	1後	4			1	2					
	C言語プログラミング	2前	2			1	1	1				
	データ構造とアルゴリズム	2後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	プログラミング	データ形式と演習	3前	2			1	1				
		離散数学	2前	2			1					
		UML演習	2後	2				1				
		オブジェクト指向設計	3前	2			1					
		多言語プログラミング	3後	2			2	1				
		マルチメディア工学	4前	2			1					
		ソフトウェア工学	4前	2			1					
	データベース	データベース言語SQL	2後	2			1					
		データウェアハウス	3前	2			1					
		データマイニング	3後	2			1					
		トランザクション処理システム	3後	2			1					
		情報推薦システム	4前	2			1					
	データ解析	確率・統計Ⅱ	2前	2			1					
		Rによる多変量解析	2後	2			1					
		一般化線形モデル	3前	2			1					
		オペレーションズリサーチ	3後	2			1					
		機械学習	4前	2			1					
	演習プロジェクト	情報システム工学実験Ⅰ	3前	2			11	1	1			
		情報システム工学実験Ⅱ	3後	2			11	1	1			
		卒業研究A	4通	2			11	2	1			
		卒業研究B	4通	4			11	2	1			
挑戦型プロジェクト		3通	4			11	1	1				
情報システム工学PBL		2後	2			11	1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	プログラミング	データ形式と演習	3前	2			1	1				
		離散数学	2前	2			1					
		UML演習	2後	2				1				
		オブジェクト指向設計	3前	2			1					
		多言語プログラミング	3後	2			2	1				
		マルチメディア工学	4前	2			1					
		ソフトウェア工学	4前	2			1					
	データベース	データベース言語SQL	2後	2			1					
		データウェアハウス	3前	2			1					
		データマイニング	3後	2			1					
		トランザクション処理システム	3後	2			1					
		情報推薦システム	4前	2			1					
	データ解析	確率・統計Ⅱ	2前	2			1					
		Rによる多変量解析	2後	2			1					
		一般化線形モデル	3前	2			1					
		オペレーションズリサーチ	3後	2			1					
		機械学習	4前	2			1					
	演習プロジェクト	情報システム工学実験Ⅰ	3前	2			11	1	1			
		情報システム工学実験Ⅱ	3後	2			11	1	1			
		卒業研究A	4通	2			11	2	1			
		卒業研究B	4通	4			11	2	1			
挑戦型プロジェクト		3通	4			11	1	1				
情報システム工学PBL		2後	2			11	1	1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックスキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2								18
		文章表現法	1・2・3・4後	2								2
		論理的思考法	1・2・3・4前・後	2								2
		情報と職業	1・2・3・4前・後	2								1
		東京電機大学で学ぶ	1前	1								1
		人間科学プロジェクト	2・3・4	2								1
		人間理解	歴史理解の基礎	1・2・3・4前・後	2							1
			哲学と倫理の基礎	1・2・3・4前・後	2							2
			認知心理学	1・2・3・4前・後	2							1
			人間関係の心理	1・2・3・4前・後	2							1
			自己心理学セミナー	1・2・3・4前・後	2							4
			情報デザインと心理	1・2・3・4前・後	2							1
			芸術	1・2・3・4前・後	2							2
		社会理解	実用法律入門	1・2・3・4前・後	2							1
			日本国憲法	1・2・3・4前・後	2							1
			日本経済入門	1・2・3・4前・後	2							1
			介護福祉論	1・2・3・4前・後	2							1
			企業と社会	1・2・3・4前・後	2							1
			大学と社会	1・2・3・4後	2							1
			企業と経営	1・2・3・4前・後	2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
専門教育科目	デジタル回路 I	1後	2			2	1	1					
	確率・統計 I	1後	2			2							
	情報通信基礎	1後	2			2		1					
	情報通信とネットワーク	2前	3			2							
	データベースシステム	2前	2			2							
	コンピュータ構成	2前	2			1							
	オペレーティングシステム I	2後	2			1							
	情報化社会と法規	3後	2			1							
	情報処理の基礎	1前	2				2	1					
	ネットワーク	IPネットワーク構築法	2後		3		2						
		ネットワークセキュリティ	3後		3		2						
		情報通信理論	2後		2		3						
		分散プログラミング	3前		2				1				
		ネットワークサービス構築法	3前		3		3						
		人工知能	4前		2		1						
		コンピュータ	デジタル回路 II	2前		2		2		1			
	先進コンピュータシステム		2後		2		1						
	オペレーティングシステム II		3前		2		1						
	数値科学と数値計算		3後		2		1						
	先進コンピュータプログラミング		4前		2		1						
	組込みシステム設計		4前		3		1						
	プログラミング	コンピュータプログラミング II	1前	2			1	2					
		コンピュータプログラミング III	1後	4			1	2					
		C言語プログラミング	2前	2			1	1	1				
		データ構造とアルゴリズム	2後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	データ形式と演習	3前		2		1	1					
	離散数学	2前		2		1						
	プログラミング	2後		2			1					
	オブジェクト指向設計	3前		2		1						
	多言語プログラミング	3後		2		2	1					
	マルチメディア工学	4前		2		1						
	ソフトウェア工学	4前		2		1						
	データベース	2後		2		1						
	データウェアハウス	3前		2		1						
	データマイニング	3後		2		1						
	トランザクション処理システム	3後		2		1						
	情報推薦システム	4前		2		1						
	データ解析	2前		2		1						
	Rによる多変量解析	2後		2		1						
	一般化線形モデル	3前		2		1						
	オペレーションズリサーチ	3後		2		1						
	機械学習	4前		2		1						
	演習プロジェクト	情報システム工学実験Ⅰ	3前	2			11	1	1			
	演習プロジェクト	情報システム工学実験Ⅱ	3後	2			11	1	1			
	演習プロジェクト	卒業研究A	4通	2			11	2	1			
	演習プロジェクト	卒業研究B	4通		4		11	2	1			
演習プロジェクト	挑戦型プロジェクト	3通		4		11	1	1				
演習プロジェクト	情報システム工学PBL	2後		2		11	1	1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任23」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を兼任・兼任14から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「准教授1」から「准教授2」、「兼任・兼任7」から「兼任・兼任16」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授8」から「教授3」に変更、および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「デジタル回路Ⅰ」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「情報処理の基礎」の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

【平成30年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任23」から「兼任・兼任16」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任24」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「自然科学概論G」（配当年次：1・2前・後、単位数：選択2単位）を新設し、「教授6」、「准教授1」を配置する。
- ・担当者変更の理由により、「情報通信基礎」の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「情報システム工学PBL」の配置を「教授11」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」に変更および「助教0」から「助教1」に変更。

(注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	112 科目	0 科目	138 科目	26 科目 [0]	113 科目 [1]	0 科目 [0]	139 科目 [1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{138} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	1.11	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.10	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.10	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.11	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.14	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.17	平成20年度	東京都足立区 千住旭町5番	
機械工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.06	昭和37年度		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.19	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士 (理学) 学士 (工学) 学士 (情報学)	1.11	平成19年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士 (情報環境学)	—	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.09	平成19年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.08	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.16	平成29年度	東京都足立区 千住旭町5番	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.12	平成29年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
大学院工学研究科修士課程								
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.97	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成3年度	
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度	
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.58	平成2年度	
大学院理工学研究科修士課程								
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.63	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.00	平成21年度	
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.84	平成21年度	
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.86	平成25年度	
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度	
大学院情報環境学研究科修士課程								
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.64	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程								
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.68	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	平成21年度	
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.10	平成21年度	
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)								
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	平成18年度	
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.88	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.33	平成18年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<システムデザイン工学部 情報システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会・ 教学委員会・ システムデザイン工学部運営委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催(教員委員8名、事務職員委員2名が参加)・ 教学委員会は月1回開催(教員委員8名、事務職員委員2名が参加)・ システムデザイン工学部運営委員会は月1回開催(教員委員9名が参加) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会 教育活動の評価・改善(方策)、ファカルティ・ディベロップメント(FD)の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項・ 教学委員会 学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項・ システムデザイン工学部運営委員会 将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成・ FD/SDセミナー・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）・ 新任教員オリエンテーション <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新生入生・父母等の満足度を調査する。・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に心構え、職務内容等について研修を行う。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成については、全科目において行う。・ 平成29年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全12回開催し、延べ604人の参加があった。・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新生入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の

向上に資する

- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

情報システム工学科は、今後ますます重要視されるビッグデータの生成（IoT）、伝達・蓄積（クラウド）、分析・解析（マイニング）のための高度情報システムを構築できる人材を養成する。

すなわち、情報システム技術と高度なプログラミングスキルに必要な専門知識と技術を学ばせるとともに、科学技術者としての高い倫理観と、時代の変化とグローバル化に対応できる能力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、「コンピュータ」「ネットワーク」「データサイエンス」分野の知識と技術を学ぶための科目を配置し、これらの科目は、6つの科目群、専門共通科目、ネットワーク科目、コンピュータ科目、プログラミング科目、データベース科目、データ解析科目に分類している。それぞれに、講義、演習科目、実験科目およびアクティブラーニングのためのPBL科目を体系的に配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月末頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成35年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月末頃 公表予定)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
システムデザイン工 学部 長	(サイトウ ツヨシ) 齊藤 剛 (平成29年4月)		
デザイン工 学科 長	(スズキ マコト) 鈴木 真 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システムデザイン工学部 デザイン工学科 学士(工学)	工学関係	4年	110人	- 年次人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 110 (-) [-]	人 () []	人 110 (-) [-]	人 () []	1.12倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,314 (-) [15]	- (-) [-]	1,329 (-) [4]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,277 (-) [14]	- (-) [-]	1,286 (-) [4]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	329 (-) [9]	- (-) [-]	319 (-) [2]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	120 (-) [9]	- (-) [-]	128 (-) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.09	1.16				

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	120 [9] (5)	— [—] (—)	133 [2]	— [—]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	114 [9] (0)	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	120 [9] (5)	—	247 [11] (0)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	120 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	247 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	— 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{120} = \boxed{0.83} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{247} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<システムデザイン工学部 デザイン工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	フレッシュマンセミナー	1前・後		2								17
	文章表現法	1・2・3・4後		2								3
	論理的思考法	1・2・3・4前・後		2								2
	情報と職業	1・2・3・4前・後		2								1
	東京電機大学で学ぶ	1前		1								1
	人間科学プロジェクト	2・3・4		2								1
	歴史理解の基礎	1・2・3・4前・後		2								1
	哲学と倫理の基礎	1・2・3・4前・後		2								3
	認知心理学	1・2・3・4前・後		2								1
	人間関係の心理	1・2・3・4前・後		2								1
	自己心理学セミナー	1・2・3・4前・後		2								4
	情報デザインと心理	1・2・3・4前・後		2								1
	芸術	1・2・3・4前・後		2								2
	社会理解	実用法律入門	1・2・3・4前・後		2							1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							1	
	日本経済入門	1・2・3・4前・後		2							1	
	介護福祉論	1・2・3・4前・後		2							1	
	企業と社会	1・2・3・4前・後		2							1	
	大学と社会	1・2・3・4後		2							1	
	企業と経営	1・2・3・4前・後		2							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・人間科学科目	フレッシュマンセミナー	1前・後		2								8
	文章表現法	1・2・3・4後		2								2
	論理的思考法	1・2・3・4前・後		2								2
	情報と職業	1・2・3・4前・後		2								1
	東京電機大学で学ぶ	1前		1								1
	人間科学プロジェクト	2・3・4		2								1
	歴史理解の基礎	1・2・3・4前・後		2								1
	哲学と倫理の基礎	1・2・3・4前・後		2								2
	認知心理学	1・2・3・4前・後		2								1
	人間関係の心理	1・2・3・4前・後		2								1
	自己心理学セミナー	1・2・3・4前・後		2								4
	情報デザインと心理	1・2・3・4前・後		2								1
	芸術	1・2・3・4前・後		2								2
	社会理解	実用法律入門	1・2・3・4前・後		2							1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							1	
	日本経済入門	1・2・3・4前・後		2							1	
	介護福祉論	1・2・3・4前・後		2							1	
	企業と社会	1・2・3・4前・後		2							1	
	大学と社会	1・2・3・4後		2							1	
	企業と経営	1・2・3・4前・後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	ワークショップ	1後	2			9	1	1			
	数学	微分積分学および演習 I	1前	4								21
		線形代数学 I	1前	2								22
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								1
		物理実験	1前・後	1								8
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2								1
		化学・生物実験	1前・後	1								14
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後		2							6
		自然科学概論B	1・2前・後		2							6
		自然科学概論C	1・2前・後		2							1
		自然科学概論D	1・2前・後		2							2
		自然科学概論E	1・2前・後		2							7
		自然科学概論F	1・2前・後		2							1
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2			1					7
		コンピュータプログラミング I	1前・後	2								9
	学部共通教育・英語科目	総合英語 I	1前		1							12
		口語英語 I	1前		1							5
		総合英語 II	1後		1							12
口語英語 II		1後		1							5	
総合英語 III		2前		1							11	
総合英語 IV		2後		1							11	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	ワークショップ	1後	2			3	0	0	1		
	数学	微分積分学および演習 I	1前・後	4								19
		線形代数学 I	1前・後	2								17
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								2
		物理実験	1前・後	1								11
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2								16
		化学・生物実験	1前・後	1								24
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後		2							3
		自然科学概論B	1・2前・後		2							4
		自然科学概論C	1・2前・後		2							2
		自然科学概論D	1・2前・後		2							4
		自然科学概論E	1・2前・後		2							7
		自然科学概論F	1・2前・後		2			4				10
	自然科学概論G	1・2前・後		2							7	
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2			1					10
		コンピュータプログラミング I	1前・後	2					1			19
	学部共通教育・英語科目	総合英語 I	1前		1							28
		口語英語 I	1前		1							21
総合英語 II		1後		1							28	
口語英語 II		1後		1							21	
総合英語 III		2前		1							22	
総合英語 IV		2後		1							22	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実習・演習・プロジェクト	デザイン工学基礎実習	1前	2			8	1	1				
	デザイン工学PBL-A	2前	2			8	1	1				
	デザイン工学PBL-B	2後	2			8	1	1				
	デザイン工学プロジェクトA	3前	2			8	1	1				
	デザイン工学プロジェクトB	3後	2			8	1	1				
	卒業研究A	4通	2			9	1	1				
	卒業研究B	4通	4			9	1	1				
学科基礎	デザイン工学概論Ⅰ	1前	2			2						
	デザイン工学概論Ⅱ	1後	2			4						
	技術日本語表現法	1後	2					1				
	回路基礎	2前	2			1	1					
	材料力学	2前	2			1						
	コンピュータプログラミングⅡ	2前	2			2						
	デジタル信号処理	2後	2			1	1					
専門数学	微分積分学および演習Ⅱ	1後	4									1
	微分方程式Ⅰ	1後	2									1
	線形代数学Ⅱ	1後	2									1
	確率・統計	1後	2									1
デザイン手法	人間中心設計	2前	2			1						
	ユーザインタフェース	2後	2			1						
	環境心理学	2後	2			1						
	ユーザビリティ評価	3前	2			1						
	感性計測	3後	2			1						
	インタラクションデザイン	3後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実習・演習・プロジェクト	デザイン工学基礎実習	1前	2			3	0	0	1			
	デザイン工学PBL-A	2前	2			8	1	1				
	デザイン工学PBL-B	2後	2			8	1	1				
	デザイン工学プロジェクトA	3前	2			8	1	1				
	デザイン工学プロジェクトB	3後	2			8	1	1				
	卒業研究A	4通	2			9	1	1				
	卒業研究B	4通	4			9	1	1				
学科基礎	デザイン工学概論Ⅰ	1前	2			5		1	1			
	デザイン工学概論Ⅱ	1後	2			5	1					
	技術日本語表現法	1後	2					0				1
	回路基礎	2前	2			1	1					
	材料力学	2前	2			1				1		
	コンピュータプログラミングⅡ	2前	2			2						
	デジタル信号処理	2後	2				1	1				
専門数学	微分積分学および演習Ⅱ	1後	4									3
	微分方程式Ⅰ	1後	2									1
	線形代数学Ⅱ	1後	2									2
	確率・統計	1後	2									1
デザイン手法	人間中心設計	2前	2			0			1			
	ユーザインタフェース	2後	2			1			1			
	環境心理学	2後	2			1						
	ユーザビリティ評価	3前	2			1						
	感性計測	3後	2			1						
	インタラクションデザイン	3後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間・社会科学	デザインのための認知科学	2前	2			1						
	デザインのための社会科学	2後	2			1						
	社会・認知心理学	3前		2		1						
	言語・非言語コミュニケーション	3後		2		1						
デザイン実践	視覚デザイン基礎	2前		2		1						
	環境工学概論	2後		2		1						
	デザインのための建築構造・積法・材料	2後		2		1						
	環境デザイン概論	3前		2		1						
	コンピュータグラフィックス	3前		2		1						
	音響工学	3前		2			1					
	インストラクショナルデザイン	3前		2		1						
	ユーザエクスペリエンス概論	3後		2		1						
	プロダクト・デザイン	3後		2		1						
	サービス・デザイン	3後		2		1						
VR環境デザイン	3後		2		1							
工学専門	回路理論および演習	2後		3		1						
	電磁気学および演習	2後		3		1						
	電気電子系 電子回路	3前		2			1					
	計測工学	3前		2		1						
	集積回路と電子材料	3後		2		1						
	論理回路	3後		2		1						
	材料と加工学	2後		2		1						
	動力学	2後		2		1						
	機械系 振動工学	3前		2		1						
	機構・機械要素設計	3前		2		1						
生体工学	3後		2		1							
制御工学	3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間・社会科学	デザインのための認知科学	2前	2			1					1	
	デザインのための社会科学	2後	2			1						
	社会・認知心理学	3前		2		1						
	言語・非言語コミュニケーション	3後		2		1						
デザイン実践	視覚デザイン基礎	2前		2		1						
	環境工学概論	2後		2		1						
	デザインのための建築構造・積法・材料	2後		2		1						
	環境デザイン概論	3前		2		1						
	コンピュータグラフィックス	3前		2		1						
	音響工学	3前		2			1					
	インストラクショナルデザイン	3前		2		1						
	ユーザエクスペリエンス概論	3後		2		1						
	プロダクト・デザイン	3後		2		1						
	サービス・デザイン	3後		2		1						
VR環境デザイン	3後		2		1							
工学専門	回路理論および演習	2後		3		1						
	電磁気学および演習	2後		3		1						
	電気電子系 電子回路	3前		2			1					
	計測工学	3前		2		1						
	集積回路と電子材料	3後		2		1						
	論理回路	3後		2		1						
	材料と加工学	2後		2		1					1	
	動力学	2後		2		1						
	機械系 振動工学	3前		2		1						
	機構・機械要素設計	3前		2		1						
生体工学	3後		2		1							
制御工学	3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学専門 情報系 専門教育科目	アルゴリズムとデータ構造	2後		2		1							
	通信とネットワーク	2後		2		1							
	マルチメディア構成と演習	3前		2				1					
	プログラム工学	3前		2		1							
	データベースと情報検索	3前		2		1							
	画像情報処理	3後		2		1							
	IoT組み込みプログラミング	3後		2		1							
	コンピュータアーキテクチャ	3後		2			1						
	教職科目	木材加工	2前			1							1
		栽培	2前			1							1
職業指導		3前			2							1	
工業技術概論		3後			2							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学専門 情報系 専門教育科目	アルゴリズムとデータ構造	2後		2		1							
	通信とネットワーク	2後		2		1							
	マルチメディア構成と演習	3前		2				1					
	プログラム工学	3前		2		1							
	データベースと情報検索	3前		2		1							
	画像情報処理	3後		2		1							
	IoT組み込みプログラミング	3後		2		1							
	コンピュータアーキテクチャ	3後		2			1						
	教職科目	木材加工(未開講)	2前			1							1
		栽培(未開講)	2前			1							1
職業指導		3前			2							1	
工業技術概論		3後			2							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
学部 共通教育・人間科学科目	健康と生活	1・2・3・4期・後		2							1
	身体運動のしゅみ	1・2・3・4期・後		2							1
	スポーツ・健康										
	トリムスポーツⅠ	1・2・3・4期		2							13
	トリムスポーツⅡ	1・2・3・4後		2							13
	体力科学演習	1・2・3・4期・後		2							1
	アウトドアスポーツA	1・2・3・4期		1							4
	アウトドアスポーツB	1・2・3・4期		1							4
	アウトドアスポーツC	1・2・3・4後		1							4
	技術者倫理	1・2・3・4期・後		2							2
	失敗学	1・2・3・4期・後		2							1
	技術者教養										
	情報化社会と知的財産権	1・2・3・4期・後		2							1
	製造物責任法	1・2・3・4期・後		2							1
	情報倫理	1・2・3・4期・後		2							1
	情報とネットワークの経済社会	1・2・3・4期・後		2							1
	情報化社会とコミュニケーション	1・2・3・4期・後		2							1
	科学と技術の社会史	1・2・3・4期・後		2							1
	科学技術と現代社会	1・2・3・4期・後		2							1
	科学技術と企業経営	1・2・3・4期・後		2							1
	グローバル教養										
	グローバル社会の市民論	1・2・3・4期・後		2							1
	比較文化論	1・2・3・4期・後		2							1
	地球環境論	1・2・3・4期・後		2							1
	国際政治の基礎	1・2・3・4期・後		2							1
	ヨーロッパ理解	1・2・3・4期・後		2							2
	アメリカ理解	1・2・3・4期・後		2							1
アジア理解	1・2・3・4期・後		2							1	
ドイツ語・ドイツ文化	1・2・3・4期・後		2							1	
中国語・中国文化	1・2・3・4期・後		2							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	ワークショップ	1後	2			3	0	0	1			
	数学	微分積分学および演習 I	1前	4								21	
		線形代数学 I	1前	2								22	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								7	
		基礎物理学B	1前・後	2								2	
		物理実験	1前・後	1								11	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2								23	
		化学・生物実験	1前・後	1								21	
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後		2							3	
		自然科学概論B	1・2前・後		2							4	
		自然科学概論C	1・2前・後		2							2	
		自然科学概論D	1・2前・後		2							4	
		自然科学概論E	1・2前・後		2							7	
		自然科学概論F	1・2前・後		2		3					8	
	情報	コンピューターテラシー	1前	2			1					9	
		コンピュータプログラミング I	1前・後	2			1					19	
	学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語 I	1前		1							20
			口語英語 I	1前		1							17
			総合英語 II	1後		1							18
			口語英語 II	1後		1							14
			総合英語 III	2前		1							11
総合英語 IV			2後		1							11	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実習・演習・プロジェクト	デザイン工学基礎実習	1前	2			3	0	0	1		
	デザイン工学PBL-A	2前	2			8	1	1			
	デザイン工学PBL-B	2後	2			8	1	1			
	デザイン工学プロジェクトA	3前	2			8	1	1			
	デザイン工学プロジェクトB	3後	2			8	1	1			
	卒業研究A	4通	2			9	1	1			
	卒業研究B	4通		4		9	1	1			
学科基礎	デザイン工学概論Ⅰ	1前	2			5		1	1		
	デザイン工学概論Ⅱ	1後	2			5	1				
	技術日本語表現法	1後	2					0			1
	回路基礎	2前	2			1	1				
	材料力学	2前	2			1					
	コンピュータプログラミングⅡ	2前	2			2					
	デジタル信号処理	2後	2				1	1			
専門数学	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4							5
	微分方程式Ⅰ	1後		2							1
	線形代数学Ⅱ	1後		2							5
	確率・統計	1後		2							1
デザイン手法	人間中心設計	2前		2		1					
	ユーザインタフェース	2後		2		1					
	環境心理学	2後		2		1					
	ユーザビリティ評価	3前		2		1					
	感性計測	3後		2		1					
	インタラクションデザイン	3後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間・社会科学	デザインのための認知科学	2前	2			1							
	デザインのための社会科学	2後	2			1							
	社会・認知心理学	3前		2		1							
	言語・非言語コミュニケーション	3後		2		1							
デザイン実践	視覚デザイン基礎	2前		2		1							
	環境工学概論	2後		2		1							
	デザインのための建築構造・構法・材料	2後		2		1							
	環境デザイン概論	3前		2		1							
	コンピュータグラフィックス	3前		2		1							
	音響工学	3前		2				1					
	インストラクショナルデザイン	3前		2		1							
	ユーザエクスペリエンス概論	3後		2		1							
	プロダクト・デザイン	3後		2		1							
	サービス・デザイン	3後		2		1							
VR環境デザイン	3後		2		1								
工学専門	電気電子系	回路理論および演習	2後		3		1						
		電磁気学および演習	2後		3		1						
		電子回路	3前		2			1					
		計測工学	3前		2		1	0					
		集積回路と電子材料	3後		2		1						
	論理回路	3後		2		1							
	機械系	材料と加工学	2後		2		1						
		動力学	2後		2		1						
		振動工学	3前		2		1						
		機構・機械要素設計	3前		2		1						
生体工学		3後		2		1							
制御工学	3後		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学専門 情報系 専門教育科目	アルゴリズムとデータ構造	2後		2		1							
	通信とネットワーク	2後		2		1							
	マルチメディア構成と演習	3前		2				1					
	プログラム工学	3前		2		1	0						
	データベースと情報検索	3前		2		1							
	画像情報処理	3後		2		1							
	IoT組み込みプログラミング	3後		2		1							
	コンピュータアーキテクチャ	3後		2			1						
	教職科目	木材加工	2前			1							1
		栽培	2前			1							1
職業指導		3前			2							1	
工業技術概論		3後			2							2	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任23」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「教授0」から「教授3」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更のため、「ワークショップ」の配置を「教授9」から「教授3」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更、「講師1」から「講師0」に変更および「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更のため、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・担当者変更のため、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「教授0」から「教授1」に変更、および「兼任・兼任9」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・担当者変更のため、「デザイン工学基礎実習」の配置を「教授7」から「教授3」に変更、「准教授2」から「准教授0」に変更、「講師1」から「講師0」に変更および「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更のため、「デザイン工学概論Ⅰ」の配置を「教授2」から「教授5」に変更、「講師0」から「講師1」に変更および、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更のため、「デザイン工学概論Ⅱ」の配置を「教授4」から「教授5」に変更および「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更のため、「技術日本語表現法」の配置を「講師1」から「講師0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。

【平成30年度】

- ・ 担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼担18」から「兼任・兼担8」へ変更。
- ・ 教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼担21」から「兼任・兼担19」へ変更。
- ・ 教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担17」へ変更。
- ・ 教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担6」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「基礎化学」の「兼任・兼担23」から「兼任・兼担16」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼担21」から「兼任・兼担24」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「教授3」から「教授4」、「兼任・兼担8」から「兼任・兼担10」へ変更。
- ・ 教育の充実の理由により、「自然科学概論G」（配当年次：1・2前・後、単位数：選択2単位）を新設し、「兼任・兼担7」を配置する。
- ・ 担当者変更の理由により、「コンピューターテラシー」の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担10」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担20」から「兼任・兼担28」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担17」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担18」から「兼任・兼担28」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担22」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担22」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・ 担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・ 教育の充実のため、「材料力学」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 担当者変更により、「人間中心設計」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教育の充実のため、「ユーザインターフェース」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教育の充実のため、「デザインのための認知科学」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教育の充実のため、「材料と加工学」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	126 科目	4 科目	153 科目	23 科目 [0]	127 科 [1]	4 科目 [0]	154 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	木材加工	1	2	専門	選択	履修者数が少ないことが見込まれるため。次年度以降開講予定、代替措置不要。
2	栽培	1	2	専門	選択	履修者数が少ないことが見込まれるため。次年度以降開講予定、代替措置不要。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「木材加工」および「栽培」については、教職関連科目の自由科目であり、平成30年度の履修者数はごく少数となることが見込まれたことから、開講せずの扱いとした。当該科目は次年度以降開講するため学生への影響はない。
学生への周知はポータルサイトで掲示を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{153} = \boxed{1.3}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	1.11	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.10	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.10	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.11	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.14	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.17	平成20年度	東京都足立区 千住旭町5番	
機械工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.06	昭和37年度		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.19	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士 (理学) 学士 (工学) 学士 (情報学)	1.11	平成19年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士 (情報環境学)	—	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.09	平成19年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.08	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.16	平成29年度	東京都足立区 千住旭町5番	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.12	平成29年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
大学院工学研究科修士課程								
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.97	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成3年度	
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度	
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.58	平成2年度	
大学院理工学研究科修士課程								
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.63	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.00	平成21年度	
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.84	平成21年度	
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.86	平成25年度	
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度	
大学院情報環境学研究科修士課程								
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.64	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程								
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.68	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	平成21年度	
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.10	平成21年度	
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)								
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	平成18年度	
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.88	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.33	平成18年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行 ・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	未履行 ・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、今年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<システムデザイン工学部 デザイン工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会・ 教学委員会・ システムデザイン工学部運営委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催(教員委員8名、事務職員委員2名が参加)・ 教学委員会は月1回開催(教員委員8名、事務職員委員2名が参加)・ システムデザイン工学部運営委員会は月1回開催(教員委員9名が参加) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会 教育活動の評価・改善(方策)、ファカルティ・ディベロップメント(FD)の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項・ 教学委員会 学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項・ システムデザイン工学部運営委員会 将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成・ FD/SDセミナー・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）・ 新任教員オリエンテーション <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成については、全科目において行う。・ 平成29年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全12回開催し、延べ604人の参加があった。・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の

向上に資する

- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デザイン工学科は、人々を活性化させる魅力的な生活空間の創造に必要な「モノ・サービス・空間」をデザインし具現化できる人材を養成する。

すなわち、情報・電気・機械の工学領域を基盤に人間科学領域を融合させた統合的体系の中で、人々を活性化させる魅力的な生活空間の創造に必要な知識を学ばせるとともに、科学技術者として高い倫理観と、時代の変化とグローバル化に対応できる能力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、「モノ・サービス・空間」を創造するために必要な工学分野および人間科学分野の知識と技術を学ぶための科目を配置している。これらの科目は、4つの科目群、すなわち、専門共通科目、デザイン手法科目、デザイン実践科目、工学専門（電気電子系、機械系、情報系）科目に分類している。それぞれに、講義、演習科目、およびアクティブラーニングのためのPBL科目を体系的に配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月末頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成35年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ (無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月末頃 公表予定)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。